

千葉県教育委員会会議議事録

令和4年度第11回会議（定例会）

1 期 日 令和5年2月7日（火） 開会 午前10時30分
閉会 午前11時15分

2 教育長及び出席委員
教育長 富塚 昌子
委員 岡本 毅
貞廣 齋子
花岡 伸和
永沢 佳純

3 出席職員

教 育 次 長 佐々木 悟
教 育 次 長 伊藤 賢

企画管理部

教 育 総 務 課 長 富田 浩明
企 画 管 理 部 副 参 事
兼 教 育 総 務 課 人 事 給 与 室 長 鈴木 克之
財 務 課 長 勝 直人

教育振興部

教 育 振 興 部 長 浅尾 智康
学 校 危 機 管 理 監 中西 健
教 育 振 興 部 次 長 中臺 一仁
生 涯 学 習 課 長 鈴木 真一
教 職 員 課 長 原 義明
学 習 指 導 課 長 石川 康浩
文 化 財 課 長 金井 一喜

企画管理部

教 育 総 務 課 人 事 班 長 村松 信郎
同 副主査 谷 亮太郎
財 務 課 予 算 班 副 主 査 新井 翔太
同 副主査 吉田 太陽

教育振興部

学 習 指 導 課 主 幹 兼 義 務 教 育 指 導 室 長 高知尾 敦博
同 指 導 主 事 福田 雄介
教 職 員 課 主 幹 兼 管 理 室 長 工藤 秀昭
同 主 席 管 理 主 事 山中 敬生
同 管 理 主 事 鈴木 保博
文 化 財 課 副 課 長 四柳 隆
同 主 任 上 席 文 化 財 主 事 猪野 義信

事務局

企画管理部教育総務課

主幹兼委員会室長 佐藤 祐児

同 副主幹 阿部 竜作

同 主査 赤羽 大輔

同 主査 伊能 昌邦

4 教育長開会宣告

5 議事録署名人の指名 永沢 佳純 委員

6 令和4年度第10回千葉県教育委員会会議（定例会）議事録の承認

7 議題の宣告及び非公開の決定

本日の案件は、第49号議案から第53号議案の議案5件、第15号報告及び第16号報告の報告議案2件である。第52号議案は、教育委員会会議規則第13条第1項第四号「知事又は議会に対する意見の申し出等」に該当することから、また、第53号議案は、同規則同条同項第一号「任免、賞罰、人事」に該当することから、非公開により審議する。

8 審議事項

第49号議案 千葉県・千葉市教員等育成指標について

【学習指導課長】

本議案は「千葉県・千葉市教員等育成指標」の策定について審議いただくものである。令和4年8月に文部科学大臣から「教員等の資質向上に関する指針」が示されたことを受けて、千葉県教育委員会では千葉市と合同で協議会を設置し、現在活用されている教員の育成指標の改訂を進めるとともに、新たに校長の育成指標の案を作成した。

教員の資質向上に関する指標は「養成・採用・研修」の各段階で構成しており、教職に就いてからの研修段階は、ステージⅠ「成長期」、ステージⅡ「発展期」、ステージⅢ「充実期」の3つのキャリアステージで構成する。教員の育成指標の柱は、これまでの「教職に必要な素養」「学習指導に関する実践的指導力」「生徒指導等に関する実践的指導力」「チーム学校を支える資質能力」に「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ICTや情報・教育データの利活用等」の2つを加え、6つの柱としている。また、校長の資質向上に関する指標は「校長に必要な素養」「学校ビジョンの構築・提示」「一人一人の強みを生かしたチーム学校の実現」「学校外との連携」の4つの柱で構成している。

「教員の資質向上に関する指標」において、養成段階には、教員養成課程を持つ大学で学生が習得すべき資質能力を、採用段階には、教員採用選考の実施要項に明記してある「千葉県・千葉市が求める教員像」を示してある。また、教職に就いた後の段階については、教員として身に付けるべき資質能力の具体的な内容を示してある。教員の育成指標改訂のポイントとしては、教員自らが自身の資質能力を客観的に捉え、研修履歴を活用するなどして、必要な研修を自ら受講することを求めていることや、校外研修だけでなく、校内や地域で先輩や同僚と高め合っていくことの必要性を示したことがある。

新たに作成した「校長の資質向上に関する指標」について、校長の指標のポイントとして、1つ目の柱に、人間的な魅力や使命感、教育的愛情など、校長として備えておくべき資質について示し、2つ目の柱以降に、学校ビジョンの構築・提示、組織づくり、学校外との連携などの校長に求めるマネジメントに関する資質能力について示した。協議会では、「校長になることがゴールではなく、校長になってからも資質を向上させることの重要性を示してあり、よい

指標である」などの意見をいただいている。また、本県独自の柱として、教員、校長ともに「チーム学校」がある。学校を取り巻く様々な課題がある現在の状況においては、教員個人の資質能力の向上はもちろん、協働しながら組織的に課題解決に当たることが重要である。県では今後も、組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員の育成に励んでいきたいと考えている。議案資料7・8ページは育成指標の内容をまとめた概要版である。今後は新たな育成指標に基づいた「千葉県教職員研修体系」の策定に向けた検討を進め、研修を一層充実させていく。

【貞廣委員】

育成指標は研修を管理するためのものではなく、教員が自ら主体的に学ぶ際の支援のためのものである。また、校内で共に学ぶ校内研修の充実が重要であるため、適切な校内研修を企画運営できる人材の育成に努めてほしい。今回、校長と教員の指標が作成されたが、養護教諭、栄養教諭、事務職員等の指標を作成する見通しはあるのか。

【学習指導課長】

現在の指標については、それぞれの職に応じて、どの部分が入り入れられるのか読み取って、活用されている。改訂された指標についても、取り入れられる部分を読み取り、活用するよう、周知していく。今後、活用の状況を見ながら、養護教諭や栄養教諭の指標の作成について、必要があれば、検討していく。

【貞廣委員】

今後、養護教諭等の指標を作成することになった場合は、養護教諭や栄養教諭など、その職の方々だけで協議するのではなく、校長や子供たちの学びに直接的に関わる教員などの専門的な意見を生かしながら、作成していただきたい。

【富塚教育長】

第49号議案について、可決したいがよろしいか。

【委員】

よい。

【富塚教育長】

第49号議案は、原案どおり可決する。

第50号議案 千葉県指定有形文化財の指定について

【文化財課長】

千葉県指定有形文化財の指定については、千葉県文化財保護条例の規定によりあらかじめ千葉県文化財保護審議会に諮問しなければならないとされている。昨年11月22日に同審議会に対し、新指定文化財5件を追加指定し、名称を変更する文化財1件を諮問し、本年1月19日に指定すべきものとして答申を受けたものである。

新指定文化財の1件目は絵画「和気清麿(石井林響筆)」である。石井林響は、明治時代後半から昭和初期に活躍した千葉県を代表する日本画家であり、奈良時代に起きた宇佐八幡宮神託事件の一場面を描く、初期の代表作の一つである。2件目は彫刻「銅造誕生釈迦如来立像」であり、昭和初期に下総国分寺跡近くの水田で発見されたと伝わる。造形的な特徴から8世紀から9世紀にかけて制作されたものと推測される貴重な資料である。3件目の工芸品「牡丹蓮華唐草模様七条袷横被付」、4件目の工芸品「亀甲梅椿模様七条袷横被付」については、いずれも佐倉市にある宝金剛寺に北条氏勝が寄進したものである。明代中期の中国製の生地が使用されており、現存例の少ない近世初期以前の貴重な資料である。5件目は考古資料「御山遺跡

SX-015石棺内出土品」である。四街道市に所在する御山遺跡の円墳から出土した金銅装円頭太刀や勾玉、ガラス玉等である。続いて、追加指定し名称を変更する文化財1件は、令和4年3月に指定した香取神宮勅使門であり、棟札3枚を附として指定し、併せて名称変更を行う。これら新指定5件の追加指定及び名称変更する1件について県指定有形文化財として指定し、長く保存・活用を進めることが望ましいと考えられる。

【富塚教育長】

第50号議案について、可決したいがよろしいか。

【委員】

よい。

【富塚教育長】

第50号議案は、原案どおり可決する。

第51号議案 千葉県登録文化財の登録について

【文化財課長】

千葉県登録文化財の登録については、千葉県文化財保護条例の規定によりあらかじめ千葉県文化財保護審議会に諮問しなければならないとされている。この4件の文化財については昨年11月22日に同審議会に対し諮問し、本年1月19日に登録すべきものとして答申を受けたものである。

1件目は考古資料「南二重堀遺跡出土土製品」である。本資料は古墳時代前期の鳥形の土製品で、扁平な腹部の表現から水鳥を模したものと推測される。保存状態もよく、全国的にも珍しい資料である。2件目は考古資料「太田法師遺跡出土銅製品」である。古墳時代後期の六鈴釧で、古墳から出土している。釧とは腕輪のことで、現在でも音が鳴るなど、状態が大変良い千葉県内でも希少な資料である。3件目は考古資料「市原条里制遺跡出土鉄製品」である。古代の鉄製穂摘具で、水田跡から出土し、保存状態も良好な資料である。4件目は記念物「銚子の古銅輝石安山岩」である。利根川の河口に位置し、約2000万年前の噴火活動によって、岩石が冷え固まってできた火山岩である。日本海の拡大が始まった時代に、活動的だった当時の日本列島の様子を解明する上で重要な資料である。これら4件について県登録文化財として登録し、長く保存・活用を進めることが望ましいと考えられる。

【富塚教育長】

第51号議案について、可決したいがよろしいか。

【委員】

よい。

【富塚教育長】

第51号議案は、原案どおり可決する。

第15号報告 教育委員会所管に係る令和5年度当初予算案について

【財務課長】

本件は、当初予算案を知事が議会に提出するにあたり、教育委員会所管に係る予算について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、1月20日付けで意見を求められたが、教育委員会会議で審議する時間がなかったため、教育委員会行政組織規則第6条

第1項の規定により、教育長が臨時に代理し、1月23日付けで知事に対し、異議ない旨回答したことを報告するものである。

本当初予算では、千葉県総合計画の目標年度である令和6年度に向けて、「第3期千葉県教育振興基本計画」に基づき、児童・生徒の学力向上、キャリア教育の推進、いじめ対策・不登校児童生徒への支援、安全・安心な学び場づくり、教員の多忙化対策など、重要な課題に取り組むために必要な予算を計上した。一般会計の規模は、3,500億852万円で、環境生活部への組織移管後の令和4年度当初予算に比べ2.5%、約88億円の減となっている。

性質別内訳について、教育予算の約9割を占める人件費は約3,158億円で、定年延長による退職者の減少に伴う減等により、約133億円の減となっている。投資的経費は約56億円で、県立学校長寿命化対策事業や県立学校トイレ改修事業の進捗等により、約10億円の増となっている。物件費は約103億円で、県立学校などの施設に係る光熱費の増などにより、約20億円の増となっている。その他の経費は約184億円で、公立学校給食費無償化事業の計上による増などにより、約15億円の増となっている。項別内訳、財源内訳は、記載のとおりである。特別会計奨学資金は、高校生への奨学資金、月額1万円から3万円を貸付けするものである。

主要事業は、「教育振興基本計画」の位置づけに従って整理してある。主な新規事業や拡充事業等について説明する。

2. 学校DX推進パートナー配置事業は、予算額3,500万円で、県立高校においてICTを効果的に活用した授業の展開を図るため、モデル校8校を巡回して授業改善の提案や教材作成等を行う専門人材を2人配置する。

3. Society5.0時代を支えるデジタル人材育成事業は、予算額3,314万円で、高校生の情報活用能力の向上を図り、デジタル社会で求められる人材を育成するため、「情報I」の学習内容をもとに実践的な課題に取り組めるデジタル教材を導入し、教材の効果を検証するほか、高校生を対象に、マインクラフトで制作した作品によるコンテストを開催する。

4. キャリア教育の推進は、予算額3,810万5千円で、学校における実践的なキャリア教育を推進するため、令和5年度から新たな取組として、高校卒業者の就職率の低下など本県が抱える課題の原因分析のためのアンケート調査を実施するとともに、県立高校の普通科においてキャリアデザインを学ぶプログラムをモデル校3校で実施する。また、主体的な高校選択推進のため、児童生徒が自己のキャリアを考え、より適切な高校選択を実現できるよう、新たに、各県立高校の魅力ある教育内容等を情報発信する「学校提案型魅力発信事業」を実施する。

7. 学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進は、予算額11億3,742万2千円で、スクールカウンセラーについて、小学校の隔週配置を拡充するほか、高等学校の配置を増員する。

8. 部活動の地域移行に向けた環境整備事業は、予算額4,500万円で、休日部活動の段階的な地域移行に向けて、受け皿となるスポーツ団体や文化芸術団体等の整備、指導者の確保等に関する実証事業を行う。

9. 特別支援学校整備事業は、予算額7,765万9千円で、浦安市立明海南小学校及び君津高校上総キャンパスの改修等を実施し、新設校を設置するもので、令和9年度に供用開始を予定している。この他に、鴨川小学校内にある安房特別支援学校鴨川分教室の普通教室を増やす。

12. 県立学校トイレ改修事業は、予算額11億7,960万円で、トイレの床のドライ化や手洗い設備の改修等について、設計と工事をまとめて発注するデザインビルド方式の導入を進め、工事の前倒しを図ることで令和11年度までに全てのトイレを洋式化する。

16. 小学校専科非常勤講師等配置事業は、予算額4億600万円で、児童の学力及び学習意欲等の向上を図るため、本県独自に小学校低中学年へ配置している専科教員等について、派遣校数を拡充するとともに、塾講師を活用した算数の専科指導を行うモデル事業を実施する。

17. 教員不足解消に向けた緊急対策事業は、予算額4,000万円で、深刻な教員不足の解消に向けて、人材サービス会社等と連携し、教員志願者に訴求力の高い採用プロモーションを行うとともに、抜本的な教員の確保対策を検討するため、千葉大学教育学部と共同でモデル事業を実施する。さらに、働きやすい職場環境をつくり、教員の定着を図るため、民間のノウ

ハウを活用した業務改善に取り組んでいく。

26. 教職員による児童生徒への性暴力等に係る対策事業は、予算額449万7千円で、児童生徒の権利利益の擁護を図るとともに、性暴力等を行った教職員に対して適正かつ厳格な処分を行うため、外部専門家による調査等を実施する体制を構築する。

35. 国際境界模式地関係遺産保存活用等支援事業は、予算額3,000万円で、世界水準の価値を有する「養老川流域 田淵の地磁気逆転地層、チバニアン」について、貴重な文化財であるとともに、校外学習等での活用を通じて子供たちへの教育効果が期待できることから、見学施設等の整備に対して助成する。

38. 教職員定数は3万7,215人で、学級数の増減等に伴い、昨年度に比べ168人の増となっている。

【富塚教育長】

今回は、教員不足の解消、学校におけるデジタル化の推進、キャリア教育の推進等に主眼をおいて、新規事業や予算の拡充を図ったところが特徴であると考えている。新たに取り組むことになったキャリア教育の推進に係わる調査・研究や教員志願者の増を目指す千葉大学との連携事業等、議会において承認いただいた際には、これらの新しく取り組む事業を効果的に進めていけるよう、教育委員の皆様には御指導いただきたい。

第15号報告は終了。

第16号報告 教育委員会所管に係る令和4年度2月補正予算案について

【財務課長】

本件も第15号報告と同様に、知事から意見を求められたことに対して、教育長の臨時代理により異議のない旨回答したことを報告するものである。

補正予算額は、一般会計で42億8,136万3千円の減額で、補正前の額とあわせ、3,593億4,762万5千円となる。性質別内訳などは、記載のとおりである。

主な事業について、1 一般会計の(1)教職員人件費であるが、予算額37億839万3千円の減額で、ア 給与等は、12月までの支給実績を基に所要額を精査したこと、イ 退職手当は、令和4年度組織の見直しによる環境生活部への組織移管のため、退職者数が減少したことなどにより、減額するものである。

(2) 県立学校ほか教育機関等の光熱費は、予算額10億4,633万2千円の増額で、県立学校などの施設において、電気、ガス、燃料費等が高騰していることから、所要額を精査し、増額するものである。

(3) は国の補正予算を活用して実施するもので、いずれも年度内の執行が困難であることから、繰越明許費を設定する。ア GIGAスクール運営支援センター整備事業は、ICT機器のトラブルなどに関する県立学校や市町村からの問い合わせに対応するため、GIGAスクール運営支援センターを設置するものである。イ 部活動の地域移行に向けた環境整備事業は、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、指導者リストを市町村と共有する人材バンクを設置するとともに、コーディネーターや指導者を対象とした研修会、地域移行の説明会などの取組を実施する市町村を支援するものである。ウ 特別支援学校スクールバス感染症対策事業は、感染症の状況が不明であるが、令和5年度も引き続き対応が必要になることを想定し、スクールバスの増車に係る経費を計上するものである。エ 県立特別支援学校スクールバスへの安全装置の設置は、感染症対策分も含めた令和5年度に増車する県立特別支援学校のスクールバスに安全装置を設置するものである。オ 農業教育環境整備事業は、農業の専門学科がある県立高校に、トラクターやコンバインなどの農業用機械を整備するものである。カ 特別支援学校の施設整備は、令和5年度に実施予定だった特別支援学校に係る整備事業を前倒して計上するものである。(ア) 県立学校空調設備整備事業は印旛特別支援学校などの管理諸室等への空調設備整備を、(イ) 県立学校長寿命化対策事業は千葉盲学校校舎などの大規模改修工事を、(ウ)

特別支援学校施設整備事業は流山高等学園のトイレ改修を、それぞれ前倒して計上している。

(4) その他繰越明許費の設定は、国補正予算に関連しない繰越明許費の設定である。ア 総合教育センター施設整備事業は、総合教育センターの本館などへの給水を行うために設置されている揚水ポンプの更新工事について、電気工事部品の調達が難航していることや、既存電気部品に、新たな故障が発生し、追加更新が生じたことにより、適正な工期を確保することが困難となったため、繰越明許費を設定するものである。イ 県立学校 長寿命化対策事業は、松戸六実高等学校に係る大規模改修工事について、建設資材の調達に時間を要したことにより、今年度予定していた出来高に達しない見込みであるため、繰越明許費を設定するものである。ウ 高等学校施設整備事業は、薬園台高校の雨水管敷設工事について、雨水管への接続にあたり、地下埋設物が支障となることが判明し、度内に工事を完了させることが困難となったため、繰越明許費を設定するものです。エ 新県立図書館等複合施設整備事業は、新千葉県立図書館・県文書館複合施設建築工事基本設計について、公園の緑を生かすなど、県民がより快適に過ごせるような館内配置とするため、検討に時間を要することから、繰越明許費を設定するものである。

2 特別会計千葉県奨学資金は、7,144万6千円の増額で、令和4年度の返還金が当初の想定を上回ったこと等により増額する。

第16号報告は終了。

委員報告 1000か所ミニ集会の参加について

【永沢委員】

1月25日に木更津市立木更津第二小学校で実施された1000か所ミニ集会に参加したので報告する。まず小学6年生全員が参加する「ゆめ仕事ぴったり体験」という授業を参観した。3名の保護者がそれぞれの仕事の内容、大変なこと、やりがいなどを話してくれた。海外で仕事をしたときの言葉や文化が違う人たちと働く大変さを話してくれた方、お客さんが喜んでくれることで自分も喜びを感じていると話してくれた方、何をやりたいかわからずに学生時代を過ごしていたことを話してくれた方がいて、子どもたちはどの方の話もとても真剣に聞いていた。その後保護者や地域の方々とのミニ集会が開かれた。参加者は20名で、木更津第二小学校のキャリア教育についての説明を聞き、意見交換を行った。コロナウイルスのパンデミックが始まる前は地域に出向いていたけれど、パンデミックが始まってからはネットで職業を探していて、職業を身近なものと感じてもらうために保護者の力を借りるようになったこと、「キャリアパスポート」というファイルを作成して小学校から高校卒業までの学びをファイリングしていくことなどを伺った。参加者から、保護者がゲストティーチャーなので子どもたちが真剣に聞いていたこと、地域の仕事に目を向けることができたこと、学校での学びが仕事につながると実感できたことがとてもよかったなどという意見があった。子どもたちが大人から学ぶ機会もあり、地域の人達が学校の取り組みを知る機会もあり、学校と地域が連携して子どもたちの成長を見守る関係が築かれているようであった。

委員報告は終了。

<傍聴・報道 退出>

第52号議案 職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の原案について

企画管理部副参事兼教育総務課人事給与室長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第53号議案 学校職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

9 教育長閉会宣告

令和5年3月8日 署名人